

◇10月20日(第15回)

<協議事項>

1 オンライン会議(研修)について

市議会におけるICT活用などのために実施したオンライン会議研修について、今後の活用を見据えて反省点などを協議した。

2 ICT活用特別委員会意見書案について

本特別委員会におけるICT活用に関する調査研究の結果について、市当局への提言などを意見書にとりまとめるため、その内容を協議した。

◇11月5日(第16回)

<協議事項>

1 ICT活用特別委員会意見書案について

第15回の協議結果を反映した意見書案について協議した結果、最終調整のうえ、11月9日に議長、市長へ提出することとした。

2 袋井市議会委員会条例の一部改正について

市議会の委員会におけるオンライン会議の実現を目指し、条例の一部改正について協議した。

◇12月10日(第17回)

<協議事項>

1 袋井市議会委員会条例の一部改正について

第16回の協議に基づき、市議会の委員会におけるオンライン会議実現に向けて課題となる内容を再協議した結果、11月市議会定例会最終日に本特別委員会から袋井市議会委員会条例の一部改正について議案提出することとした。

★11月9日に「袋井市ICT活用に関する意見書」を議長、市長に提出した。

少子高齢化や人口構造の変化に対応するため、65歳以上の高齢者人口が最大となる2040年頃には、自治体が従来の半分の職員数でも本来の機能を発揮できるよう行政のデジタル化が求められる。また、コロナ禍にあってデジタルを活用した価値の創造や新たな生活様式が一層求められる。こうしたなか、ICT活用特別委員会は、さまざまな政策課題などに対する解決手段として活用が期待されるICTに関して調査・研究を重ね、市当局への提言などをとりまとめた意見書を提出した。

【意見書の主な内容】

- ①低コスト・省電力で広域通信ができる「LPWA」や「IoT(モノのインターネット)」の技術を活用した河川水位観測等システム、地域見守りシステム、水田の水管理システムなどの導入・利活用を推進すること。
- ②「メローねっと」のさらなる普及やスマートフォン利用を基本とした情報配信システムによる市民への積極的な情報提供、市役所窓口に来なくても各種申請が可能となる電子申請などを推進すること。
- ③教育のICT環境の整備を図る「GIGAスクール構想」を早期に実現し、効果的な活用に努めるとともに、将来の端末等入替時の財政負担の軽減に努めること。
- ④今後、健康保険証や運転免許証としての利用が見込まれるマイナンバーカードについて、市民に対してセキュリティ上の心配を解消するなど、丁寧に説明し普及を推進すること。
- ⑤人間がパソコン上で行う定型的な業務を自動化するソフトウェアロボット「RPA」について、本市初の導入事例となる保育所入所申込事務の結果を検証し、他業務への普及に努めるとともに、人工知能「AI」など、他のシステムとの連動によるさらなる業務の効率化に努めること。

その他、近い将来普及が見込まれる「今後のICT」や新型コロナウイルス感染症の影響に伴う「新たな日常への対応」などについて、また、行政のデジタル化に伴う情報格差が行政サービスを受ける機会の損失につながることを懸念されることから「デジタルデバインド(情報格差)解消」に対する提言も行った。



市長へ意見書の提出

議案に対する議員の賛否

○：賛成 ×：反対 △：棄権 ー：欠席または除斥(議長(戸塚文彦)は、採決に参加しません。)

賛否が分かれた議案	森杉典子	村井勝彦	佐野武次	木下正	竹野昇	鈴木弘睦	戸塚哲夫	寺田守	田中克周	山田貴子	近藤止美	伊藤謙一	岡本幹男	浅田二郎	高橋美博	高木清隆	村松尚	戸塚文彦	大庭通嘉
袋井市職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	ー	○
袋井市議会の議員の定数を定める条例の一部改正について	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	ー	○